広報まき

1971年11月15日
第 135 号
発行　新潟県巻町役場
電話 代表 (2) 3 1 3 1
編集　商工観光課
印刷所　北洋印刷株式会社

住民基本台帳人口
（昭和46年10月31日現在）
総人口　27,383人
男　13,276人　女　14,107人
世帯数　6,154

町づくりの功労者

二団体、七十二人を表彰

夜24年間回りの福井や、里親の山添さんら

町では、十一月十五日信用組合ホールで、ほう賞条例にもとずく昭和四十六年度表彰式を行ないました。

席上、明るい町づくりに功績のあった二団体、七十二人が江端町長から喜びの表彰を受けました。

当日、表彰を受けられた人びとのおなまえは次のとおりです。（敬称略）

模範行為

―二十四年間一日も休まず午後十時から午前二時まで三軒一組で火災、盗難予防の夜回りを続けている。この間、無火災―

福井部落（区長小熊正喜戸数百四）

児童福祉

―長年、里親として、こどものめんどうを見る―

二区山添義英

社会福祉

―長年、民生委員として社会福祉に貢献した人―

松野尾横山次郎、角田浜斎藤治兵

献血功労

―クラブ員を総動員、献血運動の推進に積極的な協力を寄せる―

巻ライオンズクラブ（本田一郎会長、クラブ員三十二人）

行政功労

―多年自治振興に貢献された人―

◇各種委員（議員）

仁箇鳳兒島秀一（議会議員）二区有坂四郎、六区川口利次（国保運営委員）、河井番場善衛、十一区小林重司郎、松野尾小出一男、馬堀梨本重一郎（以上農業委員）、四区竹内敏栄、七区本間竹三郎、越前浜山下太重二（以上融資委員）、七区有田正悟（市場運営委員）、中郷屋渡辺音松、五区放本田太一郎（以上固定資産評価補助員）

◇永年勤続町職員

馬堀大関誠、漆山相模正寿、十区佐藤シズ、堀山相模正地阿部嘉作、東六区大滝カズミ、松野尾源普瑞、越前浜村松久子

納税優良

―納税成績が五年間、十年間、十五年間優秀な人―

◇五か年間町税前納

一区網真雄、佐藤秀雄、中村辰男、本宮富二、長島マツエ、七区小川則子、八区伊藤辰雄、九区若杉初枝、長谷川善七、十区西巻正、久保田高志、十二区羽生喜七郎、十三区大久保一郎、東六区本多茂男、馬堀大川浩司、田辺正一

◇十か年間町税前納

四ツ郷屋小川与一郎、一区斎藤福十、田辺昭司、井上昭吾、三区久保田幸作、五区阿部清吉、九区八木芳司、八区永野政夫、十三区小林賢司、東六区長谷川勝治郎

◇十五か年間町税前納

三区大地甚三郎、中郷屋伝川富一

永年勤続

―同一職場に二十年以上つとめ勤務成績優秀な人―

福井佐藤竹松（蒲原農協）、十三区佐藤竹松（蒲原農協）（北洋印刷KK）、堀山団地川島正行（山本善二（KK吉田組）、五区田辺丹、漆山成瀬照男（以上漆山金属KK）、東六区板垣幸三、仁箇石山義彦、三区本井政一、成田弘、七区小林敏男、堀山団地棚辺総一郎、十一区稲村キミ（以上丸善精機工業KK）

町政日記

（10月分）

1日　高速自動車道現地設計協議（漆山農協）町民講座。
4日　記者会見。管内小中学校長懇談会。狂犬病予防注射（6日まで）。循環器二次検診（8日まで）。胃部検診（9日まで）猫とう一期。2，3歳児検診。スイカ栽培技術反省会。
6日　厚生木道委員協議会農協役員会合同協議会。
7日　角田山開発特別委員会。つくし学級。
8日　公民館運営審議委員会。八日会視察。
10日　町民体育祭。
11日　胃部検診（16日まで）。小児まひ予防接種（12日まで）。教育委員会。高速自動車道特別委員会。
12日　総文教委合同会議。保育園乳児部会。
15日　管内小中学校音楽祭行政懇談会。合同行政相談。
16日　角田山頂向陽観音堂落慶入仏式。
17日　秋期消防演習。
18日　胃部検診。
19日　巻・潟東村全教員生活指導研修会。
20日　農政対策連絡協議会事務局会議。融資委員会。八葉議会行政視察来町。保育園給食部会。
21日　結核精検。婦人検診（22日まで）
22日　固定資産評価員補助員合同会議。
23日　貧血指導会。
25日　病院対策特別委員会婦人検診（27日まで）結核定期外検診（30日まで）
26日　越前角田家庭学級。シーサイドライン説明会。乳児検診（29日まで）。
28日　農業近代化資金貸付審査会。新町議勉強会。
29日　一般会計監査。

臨時町議会終わる

学校施設整備審議会を設置

臨時町議会が十一月八日開かれ、議案四件、議員提案一件が提出され、審議の結果いずれも原案どおり可決されました。

おもな議案は次のとおりです。

◆巻町学校施設整備審議会条例の制定について

巻町学校施設整備審議会は、町学校施設の整備計画を調査審議、町長に答申することになっています。委員数は二十五人以内。

◆昭和四十六年度巻町一般会計補正予算について

歳入歳出の総額にそれぞれ千六百七十九万四千円を追加、総額で八億五千八十四万二千円となりました。

歳出のほとんどが、農業用施設災害復旧費千六百七十九万七千円。

◆病院対策特別委員会の設置について

病院対策特別委員会を設置し、①施設の改良と整備②企業と公共性③診療科目のあり方④その他病院再建に必要な事項……などを調査します。委員は有坂四郎、杉山泰三、大原政治、真田関衛、小柳真治、三島吉郎、阿部信行、井沢一二、高杉嘉蔵の各議員。

毎月テーマ変え

新議員が町政の勉強会

今春の町議選で当選した新議員八人は、新人会（杉山泰三会長）を結成、五月から毎月一回町政勉強会を開き、十月で六回目を数えました。

新人会は、毎月勉強テーマを決め、みっちり半日問担当課長からくわしい説明を聞き、今後の議員活動に役立てるべく意欲的に勉強しています。

また、二期目、三期目などの古参議員もテーマにより、勉強会に同席して、町政に対する理解を深めています。

いままでに勉強したおもなものは「企業会計のしくみ」、「特別養護老人ホーム」、「越王ポリス構想」

毎月行なわれている新人会の勉強会

達者でいます

余生を社会のお手伝い

急に寒くなりましたので新潟のみなさまは冬じたくで忙しいことと存じあげます。

年齢がいくつになってもふるさとは、なつかしいものです。毎月送っていただく広報まき楽しく読ませていただいています。

私は松野尾尾出身で旧巻高等女学校第三回の卒業生です。

大正十五年故郷を離れてから二十年北海道から満州とさすらいの生活をつづけてきましたが、終戦後、千葉市の住人となりました。その当時は静寂で恵まれる人から、よくキッネが出そうだと笑われました。

しかし、その後、東京のベッドタウンとして急速にひらけ人口五十万の大都市になりました。あまりのそうぞうしさに逃げ出したいほどでございます。

鈴木　テイさん
（旧姓酒井，松野尾出身）

町出身者で、千葉市周辺で働いておられるお子さんたちに、つどいの場所としてわが家のおへやを提供したいと思いますので、親ごさんからお子さんにご連絡ください。私の家は西千葉で電車を降り、草野行バスで敬愛大学前でございます。

現住所　千葉市六川四丁目六―十六

四ツ谷通りの交通難緩和を

議会、県に陳情

町議会では、このほど村松次一議長を先頭に全議員が県庁に出かけ、ふくそうする四ツ谷十字路の交通緩和策として、「一般県道横山―巻線の改良整備促進」の早期実現を、亘知事、吉海土木部長に陳情しました。

問題の旧一一六号線と浦浜―巻線の交差する十字路は砕石を運ぶダンプカーが終日走り交通マヒ状態。

しかし、今のところ大型車が市街地を抜けるには、同道路しかなく交通規制がむずかしいため、県道横山―巻線バイパスの早期実現をはかることで、今後さらに予測される交通事情の悪化に歯止めをしようというものです。

あすなろ児童遊園地できる

ぼくらの〝ゆめ〟かなう

あすなろ児童遊園地でのびのびと遊ぶこどもたち

町では八月五日から、こどもたちからのびのびと遊んでもらおうと、児童福祉の一環として一区旧法務局跡を払い下げ児童遊園地づくりの工事を進めてきましたが、ほぼ完成しました。

名称もあすなろ児童遊園地と命名。町は遊具が完備したため、全工事の完成を待たず遊園地を開放。こどもたちから遊んでもらっています。

あすなろ児童遊園地は千百四十八平方メートル（三百四十八坪）の面積で、スベリ台中型一基・大型一基プランコ幼児用一基・小学校用一基、鉄棒二基、シーソー赤ちゃん用一基・児童用一基、遊動木などの遊具が配置されました。付帯設備として便所、池、照明灯

児童遊園地は児童の健全育成や交通事故防止など多くの利点があり、早くから完成がのぞまれていました。

ちょうど遊園地に遊びに来ていた栗林隆くん（巻小六年・一区）は「ぼくらのゆめがかなってうれしい。これで交通事故の心配もなく遊べる。欲をいえば、もう少し広ければおもいきり野球ができるんだがなあ！」と感想を述べてくれました。

無認可保育所を解消

まつば保が町立と統合

積極的に無認可保育所の解消に乗り出している町では、昨年度の漆山八幡保育所の漆山保育園統合に引き続き、今年度は松野尾まつば保育園の統合をはかることになりました。

現在、松野尾地区には、町立松野尾保育園（園児四十四人）と、まつば保育園（六十一人）の二つが隣り合わせにあり、地域の幼児保育にあたっています。

統合後は、町立松野尾保育園の定員六十人が三十人ふえ、九十人になる予定です。増員の園児を収容するため、現在の松野尾保育園を増築。乳児室、廊下、玄関など六十四・八四平方メートルが十二月末までに完成。一月一日から新園児を迎えることになっています。

あきカンの山

町は，混合収集を採用しているため，燃えないあきカンなど金属性のごみが翌朝，炉から一輪車で運び出される。たちまち熱で変形したあきカンの山ができる。

埋め立て処理

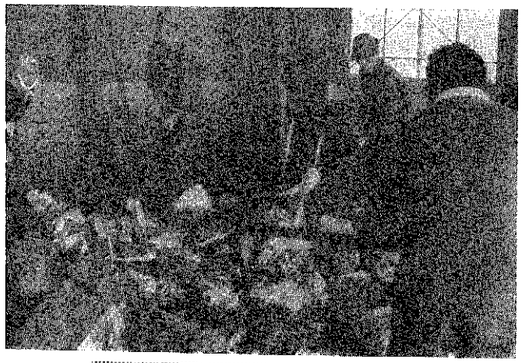
大型のごみや危険物は焼理場に運ばず，松野尾の埋め立て地で埋め立て処理される。しかしごみの量がどんどんふえるため，広い埋め立て地もすぐ満杯となる。運ばれたごみはブルドーザーで押し，その上に砂がかけられる。ごみ処理には，埋め立て地が不可欠。担当者の〝穴さがし〟は頭の痛い問題。

写真特集

ごみとたたかう

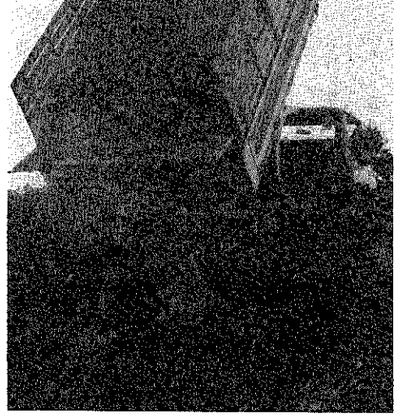
収集車、路地から路地に

5台のごみ収集車は路地から路地と，ごみを集めて走る。町民の協力で，ごみが集積場所にきちんとこん包され出されていると収集能率もグーンと上がる。



異臭にも負けず

収集車から吐き出された大量のごみは，清掃員の手でごみ投入口から焼却炉の中に入れられる。ごみ独特の異臭が鼻をつく。だが，清掃員の表情は平静だ。



燃えがら5トン

完全燃焼しても毎日5トンのもえがらや灰が出る。新しいごみの投入前，余熱でくすぶっているもえがらがベルトコンベアでトラックに積み込まれ，埋め立て地に直行。

ごみ処理の問題は町のだいじなしごとの一つです。

近年，家庭から出されるごみの量はふえるばかり。一方，ごみの質も消費生活が輪をかけ，電機製品などの大型ごみや産業廃棄物など多種多様です。

現在，町ではステーション方式（収集日，ごみ集積場所を指定）で家庭から出るごみの収集を行なっていますが，その量は1日20トン前後。特に夏はスイカ，メロンなど果物類が豊富に出回り，巻町ほか3か町村衛生組合のごみ処理場は巻町だけでも1日の焼却能力30トン以上にふくれ上がります。

本号では，雨の日も風の日も休まず，ごみとたたかう清掃事業を写真特集でとらえてみました。

みんなで考えよう

農協の合併問題

―農協合併問題で―

町の主要産業である農業と切っても切れない関係の農業協同組合（農協）の合併問題が大詰めを迎えて、いろいろ問題が出てきました。

近年、農業を取りまく社会情勢はきびしく、農村の転換期に新しい農業の発展はどうするかという問題で町内農協トップクラスの間でいろいろ検討されてきました。

局面の打開策として、農協の合併がもっとも必要だという建山、巻、峰岡、浦浜、松野尾、角田、角田浜、四ッ郷屋の八農協が巻町農協合併推進協議会を結成。推進協議会で会合を重ね、各農協とも部落座談会を開き、組合員との話し合いに入りましたが、いまでは一部を除いた九〇％～九八％は終わりました。

本号では、農協の合併問題をとりあげましたが、農家はもちろんのこと、町民のみなさんも一つしょに考えていただきたいと思います。

農家が大きなよりどころとしている農協もあわただしい経済状況の変化によって、たくさんの泣きどころを抱えています。

自己資本の不足　農家のふところが弱くなると、農協の余裕金が減り、農家の要求する借り入れにこたえられない。

職員体制が整わない　新しい仕事が広げられ、職員の優遇が不十分なので人材が集まらない。

世の中は変わる　経済が急テンポに進むので、他の産業では企業合同や合併などで、大規模にして対応している。ここで新しい方向を考え、体制づくりが必要。

農協の合併問題は農家の広い視野の考えが求められている

多い合併のメリット

指導面が強化

合併することで、現在の農家の悩み、農協の弱みに大きな力となります。

技術指導が充実　いままでの技術陣が弱体だった中で作物別、機動的に高度な指導体制ができる。

農業経営の指導充実　この ごろ技術だけでなく、営農の問題が大事になるが新しい問題では専門に営農指導が、できない。

資金の拡大　合併で、資金源が大きくなれば、個々の貸し付け限度が大きくなって、規模拡大ができる。

共同利用の設備が出来る　これからの農業は、施設過剰から脱することであるがいままでの単協（一農協）でできなかった施設が出来て、近代化や共同化が進められる。

施設設備の大型化で外部の信用も高まり、販売その他が有利になる。

外部活動が強化　事務の合理化で、人手が浮くので農家と直接対話を深める外部活動が活発になり、営農指導やサービスにつとめられる。

農協経営の合理化　管理事務に必要な人員の数が少なくなって、各部門の配置替えがされ、適材適所に人員の配置ができる。

合併で心配されること

合併の話が出ると、いろいろと心配される意見が出ています。

職員サービスの低下?　合併して大型化すると職員が官僚化してサービスが悪くなるのではないか。

現在巻町には九つの農協があって、それぞれに管理部門があって組合員と直接関係のない職員の数も多い。この不経済をなくし、人員の浮きを作り、「サービス」を強化する。

我がままができなくなる　顔見知りの気やすい職員が転勤などでわからない人と変わって不自由になるのではないか。

一部の異動だけで、逆に日常の業務や現場活動を積極的に進める体制ができる方針なので、むしろ便利になる。しかも借入金のワクも拡大され、いままでの我がまま以上によくなる。

支所は存続サービスの拠点に

本所でないと用が足りないことが多くなるのではないか　合併した本所は、管理部門だけで、現場の仕事は権限移譲して、実務は支所で扱うので、外務活動も含めて便利になる。

本所でないと金が借られないのでないか　町内二千三百戸の農家の金融仕事を本所で扱ったら大へん混乱し組合員にも迷惑をかけるので、支所に現業の仕事を移し、よほどの問題でないと本所に用はない。

やがて支所が廃止になるのでないか　支所はサービスの拠点か、事業推進のポイントであり、これが廃止される心配は全くない。すでに合併して十年もたつ他市町村の組合でも、支所が廃止されていない。

赤字の組合、余剰金の組合はどうなるのか　各農協とも合併時点で足並みをそろえるので、旧組合で処分し新組合には関係ない。

……農協合併メモ……

八農協の合併が実現すると、組合員戸数二千二百二十八の県下有数の大型農協が誕生します。

新組合の発足予定は明年三月一日。新名称は巻町農業協同組合で、本所は大字巻に置かれます。

合併実現を早く

松野尾　Aさん　いずれは農協も合併しなければならないだろう。そうであったら合併促進法の恩典のある協合併問題で話しを聞きました。その中から二、三の意見をご紹介します。

巻保育園の冬囲いする加藤さん

基本的に賛成

越前浜　Bさん　基本的には合併に賛成だ。しかし機構が大きくなることで農協のサービスが低下しないか来年三月いっぱいまでに合併してもらいたい。

合併に反対

馬場十二原　Cさん　とにかくふつごうになるので合併に反対だ。いまのままでよい。部落座談会にも出席しなかった。

きびしい情勢の中で農協は体質改善を迫られている

おめでとう加藤さん

緑化推進功労で大臣表彰

花のおじさんとこどもたちに親しまれている加藤貞作さん（九区）が、このほど都市緑化推進の功労で建設大臣から表彰を受けられました。

加藤さんは二十年にわたり、土、日曜日の休日はもちろんのこと、出勤前、勤務後などひまを見つけて保育園、学校、役場など公共施設の庭園づくりや樹木の手入れを労力奉仕で。今回その地道な労力奉仕がたたえられ、県内からの被表彰二人のうちのひとりに選ばれたものです。

昨年十月、緑豊かな町づくりをスローガンに結成された「巻町の緑とともに親しむ会」のリーダーとして、会員の指導にもあたっています。

加藤さんの受賞を町緑の会会長上原金七さんは「会員が受賞したことは会としても名誉なことだ。

加藤さんと、ともども喜びたい。今後も豊かな環境づくりに努力してもらいたい」と述べ、わがことのように喜んでいます。

飼育管理ぶり競う

豚共進会で

経産の部一位は倉沢さん（仁箇）

飼育管理と技術を競い、養豚経営の振興をはかる第十一回巻町豚共進会が十一月四日巻農業高校で開かれ各農協管内の予選を通過した〝エリート豚〟十七頭が出品され、審査を受けました。これに先だち肉豚の部は十月二十九日と殺場で十二頭が出品され、審査を受けました。

審査結果は次のとおりでした。

未経産の部

一位　高橋富太郎（仁箇）
二位　小出多源太（松野尾）
三位　柳沢宮己（松山）、山賀欣也（松野尾）

経産の部

一位　倉沢鉄雄（仁箇）
二位　五十嵐一男（馬場）
三位　大岩伝治（安尻）

肉豚の部

一位　土田稔（割前）
二位　古井道春（越前浜）
三位　小出多源太（松野尾）、岸本主（仁箇）、小出多源太（仁箇）、川口正（蛭岡）、関根正男（角田浜）

予選を通過した〝トン公〟。だけに，どれもまるまる肥えている。ちなみに胴回り1.4メートル

意義ある家計簿の記帳

消費者教室

「家計簿なんてつけたくたって暮せりゃいいじゃないか、金は天下のまわりもんだ」なんてせりふを時たま耳にする。

家計簿記帳の効用は実際につけ通してみないとわからぬものらしい。あるグループで一か年続けて家計簿をつけながら家計学習を実施したことがある。この学習を通して消費者意識が培われ定着してきた事実を見逃す事はできない。

簡単に家計をあずかるというが、家計とは金銭を計画的に使う事だと思う。一か月または一か年の計画をたてて、（つまり予算であるる）それに基づいて生活してみる。支出は内容がまことに複雑で、家計簿にでも記入して集計し検討してみなければ、はっきりとその金額をつかむ事はむずかしい。そのためには、家計簿がぜひ必要なのである。

若い時から将来の見通しを立てて準備する。そこに夢が育ち、生きがいが生まれる。目標に近づくためには、自分の生活に何がムダで何が必要かを峻別しぬく知恵が必要になる。それは一朝にしてできるものでなく計画、実践、検討をくり返すことによって身につく。

この際、手がかりとなるものはやはり家計簿だと思う。

ドルショック、物価高、デノミの不安に経済評論家は生活を九割にしめよという。家計簿記帳を今こそ―

（消費者協会巻支部）

消費生活苦情相談のご利用を　毎週木曜日午前十時から公民館で開設しています。ご気軽にどうぞ。

たばこは町で買いましょう

町内のたばこ屋さんで売られたたばこ1箱（20本入れ）につき14円28銭が町の収入になります。1年間でこれが4,200万円。町の貴重な財源となっています。

冬は多発期、火の用心を

26日から火災予防週間

十一月二十六日から十二月二日まで全国いっせいに秋の火災予防運動がくりひろげられます。

冬が本格的になるこの時期になると気温が下がり各家庭で火気を取り扱う機会が多く、火災の多発期となります。

なお、昨年の冬期間中で三件の建て物火災が発生、八百七十四万円が灰となっています。

この火災予防運動を機会に家族みんなで火災や地震が発生したときの避難の方法や役割など

家族防災会議の開催を

ます。また、寝たばこ火災は原因別でもかなり上位を占めていますので、ぜひ寝たばこの習慣をやめたいものです。

たばこの火始末を十分に

たばこの温度は六〇〇度もあるため、火のついたままですると燃えやすいものに移り、火災の原因となります。

「わが家の防災計画」をキチンと決め

ておけば、災害時にもあわてず、被害を最小限にくいとめることができます。

正しい暖房器具の取り扱いを

ストーブなどの暖房器具は、取り扱いや使用方法を誤ると、思わぬ災害を引き起こします。せまい場所やカーテン、ふすまなどの近くで使用したり、燃焼中の給油や器具移動はぜひやめたいものです。

消防用の設備は

だいじょうぶか

旅館、飲食店、事務所など大勢の人が出入りする防火対象物。その規模によって違いますが消火器、避難誘導灯、自動火災報知器、内外消火栓などの消防用設備が義務づけられていますが、それらの設備が緊急時に十分に機能を果たせるように再点検しておいてください。

週間中、午後七時警鐘点打

火災予防週間中、毎日午後七時に警鐘を次のように点打しますので、あらかじめご了承ください。

●●●●●●●

灯油保管、安全に

百リットル以上、消防署に届出を

冬期間はどこの家庭でも暖房用の石油ストーブを使うため、多量の灯油を保管します。

火災予防上、灯油は百リットル以上五百リットルまでは消防署に届け出をしなければ貯蔵できないことに町の条例で決められています。

しかし、昨年の消防署の巡回指導で、規定量以上を保管しながら無届けの家庭が相当数見られました。

灯油の保管は建て物から二メートル四方くらいのあき地に。また、万一に備え消火器（十型一本）か、乾燥した砂をりんご箱に二箱（スコップ付）を保管場所の近くに用意しましょう。

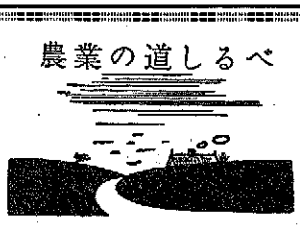
五百リットル（ドラムかん二本半）以上の保管は消防法により申請、許可を受けなければなりません。許可後、不燃材料で造った貯蔵庫の設置が義務づけられます。

百リットル以上の灯油を保管される家庭は早目に必ず届け出をしてください。

農業の道しるべ

青年と意気

西村欣策



「何でもよいから、デッカイ希望を並べて見ようじゃないか」という、司会者の発言があった。

集まっている人たちは、巻町の将来をになって立つ、より抜きの農村青年たちである。

ところが、みんな声惨っている。しばらくして一人が、「粗収入三百万円の農業を…」という発言をした。

それにつられて出て来た声は、いずれも三百～四百万円の粗収入の農家になることであった。

この答えを聞いていた司会者が、ヤキモキしている様がはっきり見える。

この先、長く農村に生き、農業をもって暮らそうとする「青年」の考え方としては、誠に淋しい。

ここで、「青年よ大志を抱け」と叫んだ、クラーク博士のことばの意味がわかるのである。

「その国を占うには、青年を見ればわかる」というがその地域の発展は、青年の意気にかかっている。

八ケタ円農業が叫ばれ、一千万円単位の農業が考えられている中で、一日一万円の所得（生産高でない）を目標にする位の、意気込みがあってほしかった。

それは、現実の農村は、国の施策もあいまい、年々経済は逼迫する。その中に、上げるべき意気も見られなくなるかも知れない。

しかし、高度な日本経済と、けんらんたる日本の近代化は、若者たちの活動の場である。

沈滞した農村の空気を吹き払い、農村人の気勢を上げるのは、若い人たちの希望が大きくなければならない。

その希望を達成するために、妨げになるものを、切り開くためには、いろいろな要求が必要になる。

この「要求」の強さが、その人たち、その地域を幸せにするもとになるのである。

民主々義の国は、要求のないものは踏み台にされるからである。

膨れ上がった「大志」を青年たちが抱いてこそ、農村は新しく動き出すであろう。

山梨県甲西町の青年たち

交換研修で四十人来町

巻町と潟東村の両青年団は、十一月二十一日から二十三日までの三日間、山梨県甲西町青年団四十人が来町、青年たちの家に民泊しながら交換研修会を行ないます。

巻町と甲西町とは縁が深く昭和四十二年に交換研修会を行なっており、今回で二度目。先月の二十二日から二十五日まで巻町・潟東村両青年団四十人が甲西町を訪問したのにこたえ来町するものです。

交換研修会の日程は次のとおりです。

十一月二十一日　受け入れ式。話し合い。民宿先で家族と懇談。

十一月二十二日　巻町・潟東村の産業と施設見学。話し合い。レクリエーション。地元青年団と交歓会。

十一月二十三日　甲西町に帰町。

第十七集「平野秀吉」

町双書できる

全国各地で注目されている巻町双書。このほど第十七集「平野秀吉」が著者小泉孝先生で発行されました。

故平野秀吉さんは巻町が生んだ文学者。著書に良寛と万葉集、唐詩撰全訳などがあります。

本を書いた小泉先生は、平野秀吉さんの門下生でもあります。

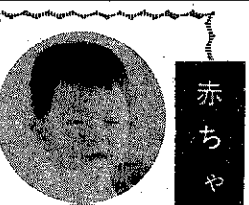
この双書の希望者には実費五百五十円でおわけしますので、巻町公民館に申し込んでください。

赤ちゃん登場

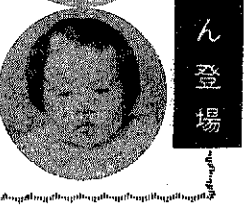
次代は引き受けた

☆ぼくのなまえ　結城　浩二（こうじ）
☆生年月日　四十五年八月二十五日
☆住所　東六区
☆両親のなまえ　吉雄（父）、厚子（母）
☆続き柄　二男
☆名づけ親　両親
☆なまえの由来　二男なので、下に数字の二をつけ、スマートさを強調
☆愛称　コオちゃん
☆好物　バナナ、あめ

係りから　この欄は一歳から二歳までの赤ちゃんを紹介します。掲載希望の家庭は広報係までご連絡ください。



☆わたくしのなまえ　近嵐　紀子（のりこ）
☆生年月日　四十五年九月二十四日
☆住所　松野尾前組
☆両親のなまえ　鉄也（父）、和子（母）
☆続き柄　長女
☆名づけ親　叔父
☆なまえの由来　昨年の万国博開催にヒントを得てつけた。
☆愛称　ノッコちゃん
☆好物　くだもの、うどん



お知らせ

11月24日信組で婦人巡回相談

県は、ご婦人で「結婚・離婚の問題」、「夫婦・親子の問題」、「その他一般の悩みごと」などを持たれている人のため、婦人巡回相談を行ないます。

十一月二十四日午後一時から午後三時まで巻信用組合三階小会議室で開設します。

相談担当は県婦人相談所県婦人少年室、西潟社会福祉事務所。

相談のひみつはかたく守られ、無料ですので、ご遠慮なくおいでください。（厚生課）

うぶごえ　（10月中届出）

なまえ	保護者	生年月日	住所
佐藤美妙子	功章	9・20	漆山区
佐藤厚子	幹郎	9・22	13
坂口晴美	武彦	9・22	浜
古井洋子	隆一	9・23	越前
小出隆晴	清一	9・24	仁
長谷川洋一	隆治	9・24	漆
小山敦	雄一	9・25	11
笛木知美	義里	9・26	蔵
平原由美香	増男	9・26	四
多賀恵	巌市	9・28	松
本田聡一	清正	9・28	赤
山本秀	則義	9・29	12
近藤正樹	賢司	9・30	松
佐藤義久	誠	9・30	漆
佐藤和歌子	昭平	9・30	2
亀倉久子	征勝	9・30	8
島田佳代子	利恵	10・2	3
山田利恵子	規平	10・2	12
土田規子	愛光	10・3	1
小川愛美	政之	10・4	越
斎藤美枝子	信義	10・5	福
山本修吾	忠孝	10・5	10
鈴木仁	則夫	10・6	越
山田孝行	光治	10・7	越
水野里香	忠彦	10・11	馬
大滝栄	一二	10・12	7
竹内賢美	保和	10・12	桜
斎藤孝義	義一	10・12	1
山本宏	義孝	10・12	9
村井加奈子	孝	10・12	峰
羽生恵	義弘	10・13	東
宍倉祐介	万夫	10・15	6
渡辺直栄	真治	10・15	島
石塚都子	稔	10・17	12
長谷川昇	伊津与	10・17	3
青柳恒	助郎	10・18	馬
高橋美幸	栄千	10・21	仁
広井純子	勝弘	10・21	1

おくやみ　（10月中届出）

なまえ	年齢	死亡日	住所
今里石松	60	10・3	納
陶山義司	58	10・3	和さ
外山末蔵	64	10・3	下赤
和田喜蔵	63	10・4	四郷
櫃口孫吉	63	10・4	13
本田太一郎	67	10・5	河
高橋トメ	64	10・6	5
竹内長永知	63	10・9	8
白崎惣記家	65	10・9	12
加藤ヨカ	60	10・9	稲
上林真一	73	10・12	5
内藤七治	62	10・15	11
桑原スカヨ	65	10・19	赤
野口タ	63	10・20	割
宮野入真理子	64	10・22	稲
野田真キチ	16	10・23	漆
本間キカ	86	10・24	東
渡辺ソ	73	10・26	稲

健やかに育て

十一月後半の休日救急病院

十一月後半の休日救急病院は次のとおりです。

二十一日県立吉田病院（吉田町）、二十三日神原医院（分水町）、二十八日町立巻病院（巻町）。

救急車をたのむときは、正確な場所を一一九番に通報してください（消防署）

県民スポーツの歌」の歌詞募集

県では、「県民スポーツの歌」の歌詞を募集しています。

歌詞は健康的で、明るく軽快なもの。応募締め切り十一月三十日。送り先新潟市一番堀通町五九二四番地新潟県教育庁保健体育課内「県民スポーツの歌」の歌詞募集係あて。入選一編に賞状と副賞二万円、佳作三編に賞状と副賞五千円が贈られます。（巻町公民館）

塩沢国体の主題スローガン募集

県では、昭和四十八年二月に、本県塩沢町で開催される国体冬季大会スキー競技会の主題とスローガンを募集しています。

内容は塩沢国体にふさわしいもの。応募締め切りは十一月三十日。作品は住所、氏名、年齢、職業を明記、主題、スローガン別に新潟市一番堀通町五九二四番地、新潟県教育庁保健体育課内「塩沢国体主題・スローガン」募集係あて送ってください。

くわしいことは巻町公民館にご照会ください。（巻町公民館）

全国植樹祭記念メタル予約受付

来年新潟県黒川村で開かれる全国植樹祭記念メタルの予約申し込みを受け付けています。

町の記念メタル予約目標は十五個。はんぶ価格は一コ千八百円で申し込みと同時に予約金千円を払い、残金八百円はメタル受領時に払います。

希望者は役場農林課に十一月二十九日まで申し込んでください。多数の場合は申し込み順位によります。（農林課）

広報にご意見を

広報づくりのため、みなさんの知恵をお貸しください。（農林課）

野田繁さん（東六区）香典返し一万円をコロニー募金に

東六区野田繁さんは、長女の故野田真理子さんの香典返しとして、町を通じコロニー募金に一万円寄付されました。

町では、さっそく県コロニー募金推進協議会に送金しました。

断水のおわび

十一月七日午前六時三十分ころ、水道が一時断水してご迷惑をおかけしたことをおわびします。

消火器の実演指導会　11月26日午後1時30分から12区消防署隣の空き地で巻ライオンズクラブと消防署の共催で開かれます。町民のみなさん多数ご参加ください。